

あにまプロジェクト

子どもの体験活動指導者養成講座

5月2・3・4日



日程：2015年5月2日(土)11:00から5月4日(月)13:00まで (10:30受付)

会場：2日・旧桜竹小学校 (日田市天瀬町桜竹 242)

3日・九重登山 (雨天時変更有)

4日・きくちふるさと水源交流館 (菊池市原 1600 TEL0968-27-0102)

対象：高校生以上の学びたい方 20名 参加費：4,800円+宿泊費

宿泊費：5/2 グリーンステイ (天ヶ瀬) 1泊2,000円

5/3 きくちふるさと水源交流館 1泊2,000円

持ち物：筆記用具、登山できる服装、靴、ぼうし、タオル

レインコート、防寒着、着替え洗面道具

子ども村プロジェクト

〒877-0061 日田市石井2丁目455-5

電話 090-9795-0831

E-mail;2008genki@kodomomura.org

5月2日(11:00-17:30)

全体講座 「シンポジウム ~子どもがイキイキと育つには~」

基礎講座 (各講師60分)

「世界から見た日本の子ども」

「科学と子どもの眼」

「青年の生き方」

「こどもは学ぶ」

野外炊飯 (17:30~)

5月3日(8:30-19:30)

実践講座 登山と安全対策

5月4日(9:00-13:00)

基礎講座 子どもの活動

【講師紹介】 *敬称略

正木 健雄 日本体育大学名誉教授・日本子どもを守る会会長

齋藤 きみ子 表現教育研究・児童文学作家

軸丸 勇士 大分大学名誉教授

前田 志津子 活水女子大学准教授 健康生活学部 子ども学科



A 「あにまプロジェクト」とは、

～子どもをイキイキさせる「あにま」を育成するプロジェクト～

「あにまプロジェクト」は、さまざまな子どもの体験活動者のための養成講座です。

「あにま」とは、子ども村で使っている呼び方で「子どもの魂を活性化する人」という意味です。フ

ランスなどでは、アニメーレ、アニメーラという呼称があり、南ヨーロッパのアニマシオンという概念を土台にしています。子ども村では、あにまは子どもたちと生活し、一緒に考え励まし、子どもたちの成長(自立と協働と自治が育っていく過程)をみることができます。

B 「子ども村プロジェクト」とは、

第1回の子ども村は宮崎県都城市で 10 日間の開催でした。その時、一人の子どもが子ども村を「究極の自由」と表現しました。子ども村は、子どもたちが自分の頭で考え遊び生活します。子どもたちはその大変さが楽しく自由と感ずるのです。その後、九州沖縄子ども文化学校の事業として、熊本県清和村(現在の山都町)で開催しました。回を重ねるにつれ参加者が増え、NPO 法人九州沖縄子ども文化芸術協会の事業として福岡県(旧)杷木町や(旧)宝珠山村、大分県中津江村ほか各地で開催し発展しました。2007年 9 月、「子ども村」を主催する団体「子ども村プロジェクト」を設立、子どもたちが十分に力を発揮成長できるよう活動しています。

C 交通案内

○旧桜竹小学校へ

お車で、日田 IC から 20分、玖珠 IC から 20分 天ヶ瀬駅から杖立方向へ5分

公共交通機関 博多駅/天神バスセンターから高速バスで日田バスセンター⇒天ヶ瀬駅

○きくちふるさと水源交流館へ

お車で、植木ICから 20分 菊池温泉から菊池水源へ 10分

公共交通機関 熊本までJRかバス 熊本から菊池へバス 60分

※ ふるさと水源交流館への交通は当日案内いたします。不明な点は事前にお尋ねください。



申込み先／ 子ども村プロジェクト

E-mail;2008genki@kodomomura.org

〒877-0061 大分県日田市石井2丁目 455-5

代表電話 090-9795-0831 担当篠原 090-9728-7945

。☆。☆。☆。あにまプロジェクト*参加申し込み用紙。☆。☆。☆。
ふりがな (男・女)生年月日

お名前 _____ ()才 年 月 日生

住所 〒 _____ 県 _____ 市/郡 _____

❖学びたいこと❖

電話番号 _____

Eメール _____

参加日、宿泊日に○印で囲んでください

- ◇ 参加希望日 5/ 2 3 4
- ◇ 宿泊希望日 5/ 2 3